メールマガジン埼玉県議会



発行:埼玉県議会

No.315 2020.9.11

県議会テレビ番組「こんにちは県議会です」 9月6日(日曜日)放送「主要会派代表者に聞く3」

県議会広報テレビ番組「こんにちは県議会です」(テレビ埼玉)では、各定例会の 模様や各委員会委員長のインタビューな ど県議会に関するさまざまな情報を放送 しています。



今号のメールマガジンでは、ご覧になれなかった方のために、9月6日(日曜日)

に放送した「主要会派代表者に聞く3」の内容をお伝えします。

☆放送スケジュールなど詳しくは、県議会のホームページをご覧ください。》

INDEX



県議会広報

こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く3」

● 日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長



議事堂の花

生け花のご紹介

☑ 県議会広報

【こんにちは県議会です「主要会派代表者に聞く3」】

〈日本共産党埼玉県議会議員団 柳下礼子団長〉

西第1区 所沢市選出

平成3年、埼玉県議会議員初当選(現在7期目)

平成19年、日本共産党埼玉県議会議員団団長に就任

団長 日本共産党埼玉県議会議員団の柳下礼子です。はじめに、新型コロナウイルス感染症でお亡くなりになられた方々に心からの哀悼の意を表するとともに、奮闘されている医療関係者の皆さまに感謝を申し上げます。

―新型コロナウイルス感染症対策についてお考えをお聞かせください ―

団長 新型コロナウイルス感染症は世界中に広がり、人類史の中でも最悪のパンデミックの一つになっています。埼玉県では新型コロナウイルスに感染した方が、自宅療養中に亡くなるという、あってはならないことが起きました。この問題の根本には、人口10万人当たりの医師の数が最も少ないという医療体制の弱さがあります。このような時こそ、公立・公的医療機関の役割は極めて重要です。ところが国は、今後の在り方の検証が必要な医療機関として、診療実績が多いか少ないかといった全国一律の基準で、全国で約440医療機関、埼玉県では7医療機関を名指しで統廃合を進めようとしています。

一埼玉県では7医療機関が、今後の在り方の検証が必要とされたのですね。

団長 7医療機関には、第2種感染症指定 医療機関に指定された感染症病床がある医療機関や、発熱外来・PCR検査センターが 設置されている医療機関があります。新型コロナウイルス感染症の流行が長期化している中、公立・公的医療機関の役割が大きくなっています。統廃合計画を撤回させるために全力を尽くします。



―公立・公的医療機関の役割が大きくなっているのですね。

団長 さらに、感染拡大の防止と感染患者の治療を担ってきた医療機関が深刻な経営危機に陥っています。倒産・閉鎖が相次ぐようなことがあれば県民の命と健康は守れません。経営を守り抜くための財政支援を求めてまいります。

―医療機関が倒産・閉鎖になると大変ですね。その他にもありますか。―

団長 感染症が発生・流行した場合、実際の治療・予防の拠点となるのは地域の専門医療機関や保健所ですが、地域保健法の改正により、全国の保健所の数が1994年の847カ所から、現在の469カ所へとほぼ半分に減りました。埼玉県には、1992年には24の保健所と四つの支所がありましたが、現在は市の保健所も含めて17カ所になっています。保健所は感染症対策の他、地域の健康相談や保健指導、食品衛生、環境衛生などさまざまな機能を持っています。地域における公衆衛生の向上と増進を図るための中心機関ですが、新型コロナ対策に追われ、他の業務に手が回らないという状況が各地の保健所で生まれています。新型コロナウイルス感染対策のためにも、保健所本来の機能回復のためにも、保健所を増やし、機能強化を求めてまいります。

一新型コロナウイルスは保健所の業務に大きな影響を与えたのですね。医療分野のお話がありましたが、経済についてはいかがですか。

団長 昨年の10月の消費税率引き上げに伴う消費の冷え込みに加えて、 新型コロナウイルス感染症による自粛要請で経済活動が制限され、日本 経済が急激に悪化しています。県内のある工業団地からは「3割ぐらい売 り上げが減少した。」「デパートや学校給食などに食材を卸していたが自粛 要請を受けて休業したため売り上げが半減し厳しい状況になっている。」 「これから先が見通せないので、今年は赤字になる。」といった話が出てい ます。一層の財政的支援を求めてまいります。

一今年度、会派として重要な課題はありますか。

団長 憲法25条では「生存権」を定めてお り、新型コロナウイルス感染拡大の中で改 めて日本国憲法の重要性が明らかになって います。憲法を変えるのではなく、憲法を全 面的に実施する政治へと変えることこそが 必要です。



一今後の抱負をお聞かせください。

団長 日本共産党埼玉県議会議員団は6月定例会の一般質問でPCR検 査を増やすことや医療機関へのさらなる財政的支援などを求めました。今 後も新型コロナウイルス感染症から県民の命と暮らしを守り抜く仕事に引 き続き取り組みます。また憲法を守り、暮らしに生かす県政実現に全力を 尽くします。

▲トップへ

※ 議事堂の花

このコーナーでは、議事堂ホールに飾られた生け花をご紹介しています。

【協力 埼玉県いけばな連合会】



- ◆展示期間 7月20日~7月22日
- ◆作者

桂古流 新藤華盛様

◆花材

南天、朝鮮槇、檜扇

◇◆生け花の作者の方にお聞きしました!◆◇



〈桂古流 新藤華盛様〉

Q:今回選んだ花材にはどういった思いを込められていますか。

A: 疫病退散を祈願する京都の祇園祭では、疫除けの花として檜扇を飾る風習があります。さらに南天は「難を転ずる」に由来する縁起の良い花ですので、昨今の情勢を鑑みて選びました。

Q:しなやかな枝の曲線など、形状が美しい作品ですね。

A: 今回は竹の三重切を使用しました。本来南天はまっすぐ枝を伸ばす花ですが、今回はくさびと火を用い枝を曲げました。上の段の花は上へ、下の段の花は下へと広げ陰陽のメリハリをつけて生けました。

<u>☆現在展示中の作品や過去の展示作品は、県議会ホームページでご</u> 覧になれます。≫

▲トップへ

【注意】

●メールマガジンにおいて氏名の一部にJIS規格第1・第2水準にない文字がある場合、第1・第2水準の漢字で表記しています。

【お問い合わせ】

- ●「メールマガジン埼玉県議会」の登録・解除はこちらから ≫ ※登録事項(メールアドレスなど)を変更する場合には、お手数ですが、 変更前のメールアドレスを一度解除してから新規に登録してください。
- ●「メールマガジン埼玉県議会」についてのお問い合わせ・感想はこちらまで!

E-mail a6250-03@pref.saitama.lg.jp

埼玉県議会事務局政策調査課

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂3-15-1 電話 048-830-6257/FAX 048-830-4923

